

安全工学シンポジウム2010 目次

第1日：7月8日（木） 挨拶 (第1室 1階講堂)
12:50～13:00

日本学術会議総合工学委員長 矢川元基
安全工学シンポジウム2010 実行委員長 三宅淳巳

第1日：7月8日（木） 特別講演 (第1室 1階講堂)
13:00～14:00

「東海・東南海・南海地震の連動発生による強い揺れと津波の予測・災害軽減」……………2
古村孝志（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター教授）
司会：三宅淳巳（横浜国立大学）

第2日：7月9日（金） 特別講演 (第1室 1階講堂)
13:00～14:00

「医療の安全確保は医療の質向上から—医療安全概論として—」……………6
飯田修平（東京都医療保健協会練馬総合病院 院長）
司会：佐藤吉信（東京海洋大学）

第1日：7月8日（木） パネルディスカッション (第1室 1階講堂)
9:40～12:00

PD-1 自動車,鉄道,航空,船舶の各交通モードにおける安全対策の比較による
高安全度交通システムの実現

コーディネーター・司会：須田義大（東京大学）

[パネラー]

- 1 インフラ協調ITS運転支援システムの開発 …………… 16
福島正夫（日産自動車）
- 2 鉄道信号の安全技術 …………… 20
平栗滋人（鉄道総合技術研究所）
- 3 航空分野における高安全確保 …………… 22
渡辺 顯（日本ヒューマンファクター研究所）
- 4 次世代航海システム戦略"e-Navigation"の取り組み…………… 26
丹羽康之（海上技術安全研究所）

14:20～18:00

PD-2 安全を大切に作る組織文化

コーディネーター・司会：野口和彦（三菱総合研究所）

[パネラー]

- 1 産業安全・社会安全に向けての安全文化の構築…………… 28
田村昌三（東京大学名誉教授）
- 2 安全指標と安全文化 …………… 30
八田康雄（デュボン）

3	パイロットと安全意識の醸成	32
	岡川正治 (全日本空輸)	
4	“安全を大切に”する組織文化”と日本社会のあるべき姿	36
	柴田高広 (三菱総合研究所)	

第1日：7月8日 (木)

第2日：7月9日 (金) パネルディスカッション (第1室 1階講堂)

9:40~12:00

PD3 交通事故半減に向けた課題の抽出と提言

コーディネーター・司会：永井正夫 (東京農工大学)

[パネラー]

1	交通事故データから見た課題	38
	岡野道治 (日本大学)	
2	交通事故死傷者ゼロに向けた自動車技術会 (共同研究センター) の取り組み (その2)	40
	近森 順 (元芝浦工業大学)	
3	ドライバー運転特性から見た課題	44
	景山一郎 (日本大学)	
4	交通事故半減に向けたITSからみた課題解決	48
	須田義大 (東京大学)	
5	ドライブレコーダ・イベントデータレコーダ (EDR) の活用	50
	石川博敏 (神奈川大学)	
6	2008年の提言の具体化に向けて	52
	鎌田 実 (東京大学)	

14:20~18:00

PD-4 リコールを巡る諸問題

コーディネーター・司会：松岡 猛 (宇都宮大学)

[パネラー]

1	リコールに学ぶ	56
	畑村洋太郎 (東京大学名誉教授)	
2	リコールの法的取り扱い	60
	廣瀬久和 (青山学院大学)	
3	自動車技術とリコール問題	64
	須田義大 (東京大学)	
4	—
	国土交通省関係者 (国土交通省)	
5	自動車の電動化、電子化とリコール問題	66
	向殿政男 (明治大学)	
6	自動車メーカーの品質向上への取り組み	68
	鶴原吉郎 (日経BP社)	

オーガナイズドセッションA

安全工学のためのシミュレーションの品質保証 (第2室 6階会議室6-A(1))

9:40~11:00

オーガナイザ：渋谷忠広 (横浜国立大学)

座長： 渋谷忠広 (横浜国立大学)

A-1	ASME V&Vの概要	72
	○高野直樹 (慶應義塾大学)	
A-2	構造解析の品質保証と標準化への取り組み-NAFEMS QSS-	74
	○吉田有一郎 (東芝インフォメーションシステムズ)	
A-3	原子力設計とV&Vガイド	76
	○堀田亮年 (テプコシステムズ)	
A-4	シミュレーションのV&Vと品質保証	78
	○中村 均 (伊藤忠テクノソリューションズ)	

オーガナイズドセッションB

Safety Service Engineeringの提案 (第2室 6階会議室6-A(1))

11:00~12:00

オーガナイザ：加部隆史 (安全工学研究所)

座長： 加部隆史 (安全工学研究所)

B-1	Safety Service Engineering(SSE)の提案 ~機械類の安全技術とシステム及びサービス思考	80
	○加部隆史 (安全工学研究所)	
B-2	Safety System Engineeringの提案	84
	○岡村隆一 (安全工学研究所)	
B-3	FAシステムでの安全関連信号の特定とリスク低減方法 ~Safety Service Engineeringの一例	86
	○小林裕一 (安全工学研究所), 加部隆史 (安全工学研究所)	

オーガナイズドセッションC

事故防止のあり方を考える~事故調査のあり方について~ (第4室 6階会議室6-C(1))

9:40~12:00

オーガナイザ：加山 宏 (安全工学会)

座長： 加山 宏 (安全工学会)

C-1	事故防止のあり方を考える~事故調査のあり方について~	88
	○加山 宏 (安全工学会)	
C-2	踏切の安全対策と事故調査	92
	○加山圭子 (東武伊勢崎線竹ノ塚踏切事故遺族)	

C-3	エレベーター事故と「独立した中立な第三者の事故調査機関」の必要性	96
	○市川正子（エレベーター事故被害者遺族）	
C-4	事故情報を活用する—家電製品の例—	100
	○高杉和徳（製品安全コンサルタント）	
C-5	ヒューマンエラーは裁けるか	102
	○本江 彰（日本ヒューマンファクター研究所）	
C-6	事故調査機関の権限強化について	104
	○米倉 勉（弁護士）	
C-7	国民生活に役立つ事故調査の実現に向けて	106
	○高本孝一（日本乗員組合連絡会議事故解析委員）	

オーガナイズドセッションD

原子力発電所の地震安全（第2室 6階会議室6-A(1)）

14:20~16:00

オーガナイザ：大橋弘忠（東京大学）

座長： 大橋弘忠（東京大学）

D-1	原子力発電所の設計と評価における地震安全の論理	110
	○大橋弘忠（東京大学）、成宮祥介、宮田浩一、渡辺憲夫	
D-2	原子炉施設の耐震設計に用いる基準地震動について	114
	○高田毅士（東京大学）	
D-3	原子力施設の耐震設計と耐震安全評価について—中越沖地震の教訓—	116
	○蛭沢勝三（東京都市大学）	
D-4	地震後の機器の健全性評価について—中越沖地震の経験から—	120
	○野本敏治（東京大学名誉教授）	
D-5	地震後の機器健全性確認のための検査方法について	124
	○伊東 敬（日立GEニュークリアエナジー）、吉川慶一、大岡紀一	

オーガナイズドセッションE

建設現場における安全管理・安全教育（第3室 6階会議室6-A(2)）

14:20~16:40

オーガナイザ：小島伸一（清水建設）

座長： 小島伸一（清水建設）

E-1	小規模工事における建設現場の「KY活動・KY訓練」等ヒューマンエラー防止の工夫例	128
	○高野忠邦（日本労働安全衛生コンサルタント会）	
E-2	大規模ニューマチックケーソン現場における労働安全衛生への取り組み	132
	○齋木 正（清水建設）	
E-3	大学生に対する建設現場での安全教育の試み	136
	○大嶋勝利（労働安全衛生総合研究所）、高野忠邦	
E-4	現場安全教育における危険予知訓練について	140
	○広兼道幸（関西大学）、白木 渡、大嶋勝利	

E-5	鉄道建設工事における安全管理	144
	○辻 徹（東日本旅客鉄道）	
E-6	現場の安全管理実務に関する工夫事例	146
	○須藤英明（鹿島建設）	
E-7	ライフライン工事における5m-SHELモデルの妥当性	150
	○山田貴久（労働安全コンサルタント）	

オーガナイズドセッションF

科学的事故調査とはいかにあるべきか（第4室 6階会議室6-C(1)）

14:20~16:40

オーガナイザ：松岡 猛（宇都宮大学）

座長： 松岡 猛（宇都宮大学）

F-1	火災事故調査への火災安全工学的アプローチ	154
	○長谷見雄二（早稲田大学理工学術院）、井田敦之	
F-2	”科学的事故調査”について考える—再発防止のためになすべきことは何か？—	158
	○松本 陽（（独）交通安全環境研究所名誉研究員、運輸安全委員会）	
F-3	事故発生状況の記録方法	160
	○堀野定雄（神奈川大学）	
F-4	事故調査と犯罪捜査の科学的検証の違いについて	162
	○池田良彦（東海大学）	
F-5	科学的事故調査とはいかにあるべきか—原子力分野における根本原因分析—	164
	○作田 博（原子力安全システム研究所）	

オーガナイズドセッションG

大学および研究機関における安全衛生管理のあるべき姿を目指して（第5室 6階会議室6-C(2)）

14:20~18:00

オーガナイザ：小山富士雄（東京大学）

座長： 小山富士雄（東京大学）

G-1	大学の安全衛生管理の特徴と課題解決に向けての取り組み	166
	○小山富士雄（東京大学）	
G-2	理工科系単科大学である東工大の安全衛生管理	168
	○長谷川紀子（東京工業大学）、多田 大、大天伸一	
G-3	独法研究機関である産総研の安全管理	172
	○飯田光明（産業技術総合研究所）	
G-4	大学における安全衛生マネジメントシステムの構築に関する提案	174
	○山田修一（長岡科学技術大学）、福田隆文、門脇 敏	
G-5	大学における化学物質管理のあるべき姿	176
	○林瑠美子（東京大学）	
G-6	大学における高圧ガス管理の現状と課題	180
	○百瀬英毅（大阪大学）	

G-7	大学におけるバイオ研究の安全管理	184
	○三浦竜一（東京大学）	
G-8	実験室における化学物質の曝露と作業環境測定	186
	○中村 修（東北大学）、進藤 拓	
G-9	体感型安全教育支援システムの開発	188
	○切川卓也（早稲田大学）、鈴木克俊、古市直斗、永田勝也	

一般セッション 1

安全と社会・経済（第3室 6階会議室6-A(2)）

9:40~12:00

座長：島田行恭（労働安全衛生総合研究所）

1-1	安全文化を考える	302
	○本田尚士（日本技術士会）	
1-2	製造者、消費者双方の協力による耐久消費財の経年劣化対策	306
	○川上 泰（社会システム研究フォーラム）、田村昌三、木村好次、池澤正秀、中嶋 公、帆足興次、鈴木和則、熊谷幹郎、川橋文隆、大島榮次	
1-3	災害等分析能力の組織的な向上を目指した取組みと教訓	310
	○古濱 寛（東京電力）、池野太郎、吉田 久、吉澤由里子、鹿毛佳子、坂井秀夫	
1-4	リスク管理普及定着の課題と講想	314
	○西川康二（退職化学技術者）	
1-5	ヒューマンファクターを考慮した当直要員数の研究	316
	○柴田高広（三菱総合研究所）、尾上幸浩、豊田聖史、田中真澄、小池明文	
1-6	Questioning Attitudeを考慮した安全文化評価の実施（2）	318
	○山出康世（社会安全研究所）、齋藤 朗、首藤由紀	
1-7	Questioning Attitudeを考慮した安全文化評価の実施（3）	320
	○首藤由紀（社会安全研究所）、齋藤 朗、山出康世	

一般セッション 2

交通に関する安全と信頼性（第5室 6階会議室6-C(2)）

9:40~12:00

座長：桐谷伸夫（海上技術安全研究所）

2-1	海上漂流物の蛍光スペクトルについて	324
	○樋富和夫（海上技術安全研究所）、山之内博、篠野雅彦	
2-2	鉄道作業員の安全度向上に向けた列車接近警報装置の開発	328
	○井上淳太（西日本旅客鉄道）、溝口敦司、島田喜久雄	
2-3	都市内高速道路ジャンクションの覆蓋構造部における火災時の安全対策とその適用事例について	330
	○齊藤博之（首都高速道路）、石井久史、菊本智樹	
2-4	海上輸送の安全性支援のためのGISによる航海情報	334
	○塩谷茂明（神戸大学）、姜 鶴、牧野秀成、嶋田陽一	

2-5	移動ロボットの実証実験における安全課題	338
	○五十嵐広希（電気通信大学）、木村哲也、松野文俊	
2-6	鉄道の事故リスクの目標水準に関する一考察	340
	○秋田雄志（鉄道総合技術研究所）、岩田浩司	
2-7	水中音による航行船舶の監視技術	344
	○今里元信（海上技術安全研究所）、桐谷伸夫	

一般セッション 3

地震と安全（第2室 6階会議室6-A(1)）

16:00~17:40

座長：西 晴樹（消防研究センター）

3-1	石油タンクと給水タンクとガスタンクの地震被害への不均一地盤の影響	346
	○那須 誠（前・前橋工科大）	
3-2	耐震設計された天井の水平加力実験	350
	○永野康行（福井工業大学）、辻岡静雄	
3-3	積雪時における免震構造物の大地震時安全性	354
	○岡崎汐里（福井工業大学）、永野康行、前田博司	
3-4	自治会・町内会を基盤にした災害時住民避難支援システムの構築の可能性	358
	○有馬昌宏（兵庫県立大学）	
3-5	消防活動支援システムを活用した震災時消防戦略の検討	362
	○坂本朗一（防災&情報研究所）、高梨成子、堂田深次、大西一嘉	

一般セッション 4

健康・福祉に関する安全（第3室 6階会議室6-A(2)）

16:40~17:40

座長：義澤宣明（三菱総合研究所）

4-1	がんリスクマネジメントの構築—工学と医学の融合を目指して—	366
	○木村正彦（愛知県技術士会）	
4-2	立位歩行支援装置の試作と安定性の検討	370
	○千田俊策（長岡技術科学大学）、福田隆文、杉本 旭	
4-3	ロールボックスパレット起因災害の実態と防止対策事例をもとにしたリスク低減方策の検討	372
	○大西明宏（労働安全衛生総合研究所）、清水尚憲、甲田茂樹、佐々木毅、久保智英	

一般セッション 5

電気・電子・情報の安全と信頼性（第4室 6階会議室6-C(1)）

16:40~17:40

座長：池田博康（労働安全衛生総合研究所）

5-1	HAZOP手法の展開	374
	○小川 清 (名古屋市工業研究所), 齊藤直希, 渡部謹二	
5-2	自動車制御用プラットフォームの機能安全対応	378
	○竹内 舞 (ヴィッツ), 水野智仁, 森川聡久, 小川 清, 齊藤直希, 渡部謹二	
5-3	感圧導電ゴムを用いた荷重センサの構造に関する研究	382
	○渡邊 翔 (長岡技術科学大学), 福田隆文	

懇親会

日 時：2010年7月8日(木) 18時30分

場 所：はあといん乃木坂

参加費：4,000円

申込み：参加ご希望の方は第1日目7月8日(木)に会場総合受付にてお申し込み下さい。

第2日：7月9日(金)

オーガナイズドセッションH

子どもの安全 (第2室 6階会議室6-A(1))

9:40~11:40

オーガナイザ：向殿政男 (明治大学)

座長： 向殿政男 (明治大学)

H-1	子どもの安全について考える	190
	○向殿政男 (明治大学)	
H-2	なぜ「犯罪からの子どもの安全」に関わるようになったか	192
	○片山恒雄 (東京電機大学)	
H-3	事故からの子どもの安全	196
	○山中龍宏 (緑園こどもクリニック)	
H-4	インターネットにおける子どもの安全	200
	○田代光輝 (ニフティ)	
H-5	都市における子どもの安全	204
	○山本俊哉 (明治大学)	
H-6	生活空間における子どもの安全	208
	○タン・ミッシェル (帝塚山大学)	

オーガナイズドセッションI

鉄筋コンクリート部材の耐火性 (第3室 6階会議室6-A(2))

9:40~12:00

オーガナイザ：安部武雄 (東京工業大学)

座長： 安部武雄 (東京工業大学)

I-1	鉄筋コンクリート構造に関する耐火研究の変遷	212
	○安部武雄 (東京工業大学)	
I-2	コンクリートの高温時特性	214
	○山下平祐 (建材試験センター), 常世田昌寿	
I-3	高強度鉄筋コンクリート柱の耐火性能	218
	○丹羽博則 (大林組), 瀬川紘史, 一瀬賢一, 津田和明, 長沼一洋	
I-4	鉄筋コンクリート梁・床の耐火性	222
	○西村俊彦 (竹中工務店)	
I-5	火災加熱を受ける鉄筋コンクリート構造骨組の応力変形性状	226
	○平島岳夫 (千葉大学), 豊田康二	
I-6	鉄筋コンクリート造の火害診断	230
	○阪口明弘 (日本建築総合試験所), 吉田正友	
I-7	材料の構成則に基づくプレレストコンクリート部材の耐火性能評価	234
	○西山峰広 (京都大学), 林 成俊	

オーガナイズドセッションJ

機械災害の現状と課題 (第3室 6階会議室6-A(2))

16:20~17:40

オーガナイザ：梅崎重夫 (労働安全衛生総合研究所)

座長： 梅崎重夫 (労働安全衛生総合研究所)

J-1	食品機械を対象とした労働災害分析	238
	○梅崎重夫 (労働安全衛生総合研究所), 濱島京子, 池田博康	
J-2	既設機械の安全の現状と課題	242
	○三平律雄 (セーフティアセスメント), 宮川高志	
J-3	第三次産業での機械設備による労働災害の災害種別・業種別分析	246
	○濱島京子 (労働安全衛生総合研究所), 梅崎重夫, 清水尚憲	
J-4	安全に関わる対投資効果の算出手法における考察	250
	○宮川高志 (ロックウェルオートメーションジャパン), 梅崎重夫, 三平律雄	

オーガナイズドセッションK

長寿社会の安全性 (第2室 6階会議室6-A(1))

14:20~16:40

オーガナイザ：鈴木喜久 (前橋工科大学)

座長： 鈴木雅久 (電気通信大学)

K-1	長寿社会の安全性：高齢社会の進展と高齢者(自立)社会への適合	254
	○坂下栄二 (技術協力安全センタ), 夏目 武	
K-2	高齢者の事故損出について一道路交通事故と高齢者の係わり	256
	○山本正宣 (シグナルコンサルタント), 夏目 武	
K-3	高齢運転者の諸機能低下と交通事故死亡危険度の増大について	258
	○佐野紘平 (キャットポート)	

K-4	交差点の事故対策	262
	○堀野定雄 (神奈川大学)	
K-5	ランクマトリックス法による道路交通システムの安全評価(2)	264
	○峯尾佳幸 (三菱電機エンジニアリング)、鈴木喜久	
K-6	高齢者見守りシステムについて	268
	○赤井田健造 (立教大学)	
K-7	高齢者の安全確保	270
	○鈴木喜久 (前橋工科大学)	

オーガナイズドセッションL

化学兵器の廃棄処理の安全対策 (第3室 6階会議室6-A(2))

14:20~16:20

オーガナイザ: 古崎新太郎 (東京大学)

座長: 水野光一 (産業技術総合研究所)

L-1	化学兵器処理の各国の処理の現状とリスク管理	272
	○朝比奈潔 (神戸製鋼所)	
L-2	遺棄化学兵器廃棄事業のパラダイムシフトとリスク因子	276
	○岸田伸幸 (早稲田大学)	
L-3	中国における慢性ヒ素中毒事例と予防対策	280
	○山内 博 (北里大学)	

オーガナイズドセッションM

都市鉱山と防災 (第4室 6階会議室6-C(1))

14:20~16:20

オーガナイザ: 古積 博 (消防研究センター)

座長: 三宅淳巳 (横浜国立大学)

M-1	各種金属の火災危険性と消防法令による規制	282
	○古積 博 (消防研究センター)、岩田雄策	
M-2	都市鉱山とリスク管理	286
	○三宅淳巳 (横浜国立大学)	
M-3	廃棄物処理現場での事故事例	288
	○藤井良仁 (ハチオウ)	
M-4	廃棄・資源化における事故事例と分析	290
	○和田有司 (産総研)	
M-5	金属スクラップの輸出管理と資源回収の課題	294
	○寺園 淳 (国立環境研)	
M-6	レアメタル回収の現状と今後の課題	298
	○安田憲二 (エネルギー環境工学研究所)	

一般セッション6

システムの安全と制御技術 (第4室 6階会議室6-C(1))

9:40~11:40

座長: 野邊 潤 (三菱総合研究所)

6-1	ハードウェア・ソフトウェアの安全性を評価判断するツールの開発	384
	○兼沢裕樹 (東芝システムテクノロジー)、吉岡律夫、平山廣和	
6-2	小規模な組込みシステム設計における安全機能の適用事例	386
	○金 周慧 (名古屋大学)、松原 豊、高田広章	
6-3	複数故障モードを持つフェーズドミッションシステムの重要度評価	390
	○松本智史 (京都大学)、幸田武久	
6-4	プロセス安全管理のための業務モデルの基本形	394
	○島田行恭 (労働安全衛生総合研究所)、北島禎二、武田和宏、淵野哲郎、仲 勇治	
6-5	労働災害における安全装置の意図的無効化の要因解明と予防への取り組み	398
	○岡部康平 (労働安全衛生総合研究所)、梅崎重夫	
6-6	消防ヒヤリハットデータベースの運用を通じた、事故・ヒヤリハット事例の共有化	400
	○渡辺雅洋 (消防科学総合センター)、齋藤 朗、鈴木知基、横山正彰、岡本浩一	

一般セッション7

燃焼・火災・爆発に関する諸特性 (第5室 6階会議室6-C(2))

9:40~12:00

座長: 熊崎美枝子 (横浜国立大学)

7-1	CH ₄ 、CH ₂ F ₂ 、及びCH ₂ =CF ₂ の爆発限界の圧力依存性について	404
	○近藤重雄 (産業技術総合研究所)、高橋明文、滝澤賢二、徳橋和明	
7-2	開放空間でのガス爆発時の火災挙動と爆風圧に関する研究	406
	○金 佑勁 (東京大学)、茂木俊夫、土橋 律	
7-3	FT-IRを用いたDTBPの熱分解に関する研究	408
	○岩田雄策 (消防研究センター)	
7-4	モンテカルロ法によるタンク全面火災ふく射シミュレーションの開発(火災モデルの検討)	410
	○小末祐輝 (大阪大学)、倉敷哲生、座古 勝、生和光朗	
7-5	フィジカルリスク評価のための化学物質リスク情報プラットフォーム	414
	○木村新太 (労働安全衛生総合研究所)、半井豊明、岡 泰資、三宅淳巳	
7-6	道路トンネル火災時において発熱速度・発煙速度の経時変化が避難者に与える影響	418
	○清家美帆 (金沢大学)、川端信義、長谷川雅人	
7-7	金属粉の火災・爆発で生成する粒子状物質の粒子形状特性	422
	○八島正明 (労働安全衛生総合研究所)、小野真理子、鷹屋光俊	

一般セッション 8

燃焼・火災の防止技術（第4室 6階会議室6-C(1)）

16:20～17:20

座長：山隈瑞樹（労働安全衛生総合研究所）

- 8-1 火災調査結果に基づく製品使用対策 426
○森尻 宏（東京消防庁光が丘消防署）、森井統正
- 8-2 大容量放射砲による放水挙動シミュレーション 430
○川端信義（金沢大学）、内田泰貴、長谷川雅人、佐宗祐子、内藤浩由、
金田節夫
- 8-3 粉体用除電器の印加電圧周波数の依存性に関して 434
○最上智史（茨城大学）、崔 光石、山隈瑞樹、鈴木輝夫、池畑 隆

一般セッション 9

建設に関する安全（第5室 6階会議室6-C(2)）

14:20～17:40

座長：大幢勝利（労働安全衛生総合研究所）

- 9-1 近年のトンネル建設工事における落盤・土砂崩壊災害の調査・分析 436
○吉川直孝（労働安全衛生総合研究所）、伊藤和也、堀 智仁、玉手 聡
- 9-2 建わくとわく組足場の座屈強度 440
○高橋弘樹（労働安全衛生総合研究所）、大幢勝利、高梨成次
- 9-3 せり上げ足場設計用風荷重の算定 442
○大窪一正（鹿島建設）、本郷 剛、近藤宏二
- 9-4 走行地盤の起伏とくい打機の揺動に関する実験的解析 446
○玉手 聡（労働安全衛生総合研究所）、堀 智仁
- 9-5 敷鉄板模型による接地圧分散に関する基礎的研究 450
○堀 智仁（労働安全衛生総合研究所）、玉手 聡、吉川直孝、伊藤和也

座長：玉手 聡（労働安全衛生総合研究所）

- 9-6 ALCパネルにおける足場用壁つなぎ材アンカーの強度に関する研究 454
○高梨成次（労働安全衛生総合研究所）、大幢勝利、高橋弘樹
- 9-7 斜面崩壊による労働災害防止対策について 458
○豊澤康男（労働安全衛生総合研究所）、伊藤和也、日下部治、竹村次郎、
玉手 聡、高木元也
- 9-8 斜面掘削工事中の土砂崩壊による労働災害の崩壊形態・崩壊原因の傾向 462
○伊藤和也（労働安全衛生総合研究所）、豊澤康男、高橋章浩、竹村次郎、
日下部治
- 9-9 ドイツ建設業における労働安全管理体制の現場調査 466
○日野泰道（労働安全衛生総合研究所）、高梨成次、豊澤康男、高橋弘樹
- 9-10 建設業におけるリスクアセスメント導入期の課題と定着期に向けた改善策について 468
○高木元也（労働安全衛生総合研究所）